



公益財団法人

ソーシャルサービス協会だより

2017年
8月18日
事務局発行
No.13

月サイクルの仕事です
月次決算を軌道に乗せましょう!

◎2017年度5月損益			2017年8月10日現在 (千円)	
単位(千円)	収入実績	支出実績	損益実績	備考
せせらぎ	341	581	-240	訪問介護収益、人件費未計上
旭川	0	0	0	未計上
青森	0	0	0	未計上
仙台	1,533	1,340	193	4~5月で407千円の黒字
塩釜	2,780	4,027	-1,247	4~5月で-750千円の赤字
多摩	2,219	1,957	262	4~5月で-114千円の赤字
IT	5,628	4,806	822	4~5月で3,840千円の黒字
京都	10,170	8,751	1,419	4~5月で6,062千円の黒字
ワーク	2,399	4,901	-2,502	宿泊、ホームレス収入、支出未計上
田川	1,079	606	473	4~5月で380千円の黒字
福岡	4	271	-267	4~5月で-428千円の赤字
宮若	0	78	-78	6月末では、113千円の黒字
都城	2,214	2,447	-233	4~5月で6千円の黒字
本部	715	1,021	-306	7月より会館1階ナド確保
計	29,082	30,786	-1,704	※本部費、消費税含まず

5月の月時損益結果は、8月10日時点で未決です。4つの事業所が入力を終えていません。せせらぎは、訪問介護収入と人件費が未計上です。旭川と青森は、今年度の入力がありません。ワークセンターは、宿泊、ホームレス収入と支出が未計上です。2016年度決算で公認会計士に「理事会、本部等による管理は十分でない状況は継続している」と指摘されていますが、そのとおりの結果となっています。

遅れている事業所は、何が原因なのかを明らかにし、早急に改善しましょう。入力されている所では、本部費と消費税を計上していない段階で、4~5月で6つの事業所が黒字で、3つの事業所が赤字となっています。

《事業所紹介》 **「旭川事業所」** 所長 斎藤美樹子

私たちの事業所が今続けているのは草刈業務です。旭川市から入札によって仕事を受託しています。もう10年ぐらい続いています。それは、市中心部から10キロぐらい郊外の「西神楽町共栄」という地区に点在する農家に給水している水道施設周辺の草刈業務で、7月と9月の2回、3日間くらいずつ実施しています。

熊や狐や鹿がでるような山奥の斜面や笹藪の中へ分け入って黙々と草刈りを行っています。その事によってこの地域に住む農家の人々に水道水が安定して供給されている事を考えると、従事している13名の仲間のちょっとしたやりがいにもなっています。今年も1回目の草刈りを終え、また秋風の吹くころに作業に入る予定です。



2016年度決算についての
公認会計士の所見

◎事業所についての指摘事項

「理事会、本部等による各事業所に対する管理は十分でない状況は継続している。公益法人として適切な事業所管理を進め、内部監査等引き続きの強化が課題である。」

◆対応策として

公益財団法人ソーシャルサービス協会発足後、監事による事業所監査を2017年2月までに全事業所を終えた。財団法人から公益法人への名称変更に伴う当局や関係機関への届け出変更のチェックが主だった。これから第2回目の事業所監査を開始する。事業所運営面、帳簿のチェック、残高チェックなど強めていく。

◎課題のある事業所

①当期正味財産増減額がマイナスの事業所(赤字)

せせらぎ、仙台、塩釜、多摩、福岡、本部

②一般正味財産期末残高がマイナスのところ(自己資本がマイナス)

仙台、福岡、宮若、都城

◎退職金積み立てについて

①制度のあるところと無いところの混在状況は、統一した労働条件を整備した法人という説明に疑念をもたれる可能性がある。

②計上根拠の妥当性についても再確認が必要。

◆対応策

①法人としての退職金規程就業規則第42条にあるように、「中小企業退職金共済に加入し、この章に定めるところにより退職金を支給する。」とある。従って、中退共が統一したものである。

②計上根拠の有無
塩釜、IT、京都、ワーク、田川にそれぞれ公益への移行時のものがある。

その他公認会計士からの指摘事項が25項目ありましたが、事業所からの回答は12項目で、13項目が残っています。報告をお願いします。

絶えず騒ぐ人がいて
緊張感のあるほうが
生き生きしている!

佐高信の「人間が幸福にならない日本の社会」(平凡社新書)の中に、ミサワホームの三澤千代治の『ナマズの話』がある。

ノルウェーのイワシをとって船の生簀(いけす)に入れて港へもってくる魚があるという。生きのいいイワシをもってくると高く売れるから、何とかみんな生かしてもってこようとするのだが、たいてい死んでしまう。ところが、なかに一隻だけ、必ずイワシを生かしてもって帰る船があった。

しかし、その船の船長は秘密にして中を見せてくれないので、どういう仕掛けになっているのかわからない。そのうち、その船長が亡くなったので調べてみたら、生簀(いけす)の中にナマズが入っていた。

ミサワホームの三澤は言う。「ナマズが入っていると、見たことないやつがいるっていうんで、イワシが緊張する。エライコッチャということで右往左往するわけね。それで、生きて港までくる。ナマズのほうもそうじゃないですか。塩水のなかに入れると苦しいから、バタバタ動くんでしょ」「人間の組織も同じで、誰か騒ぐ人がいて緊張していると生き生きしてくるんですね」

…安倍内閣の中にも、官僚の中にも元気なナマズがいたほうが良さそうですね。それもとびきり元気なのが。